



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

5月



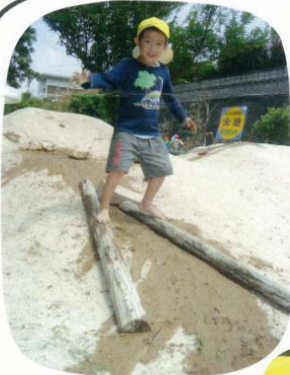
虫 虫ヒリあそび、虫かごを持ち歩き、園庭のあちこちで、ちようちえん バックなどをさがし、つかまえる。「いやー!!」と、見つけては、必死に手によってつかま、虫かごに入れ、観察する。



砂 (まだしにアサヒ、砂山場でお山作り。スコップで、砂をピンピンと掘り、盛り上げて、手で押さえて、大きな山を作っていく。)



(木を使って、地面にトンネルを描く。
"大型バス、で通りたい"と、大きなバスのかたちができる。)



・土山で、水あびが始まる。水を運んできては、土山のてっぺんから流しこぼす遊び。その時、木ぎれを、組み立てて運び出す。
水の流れる道のおうまのを、木ぎれを並べ、作る。

・手で、水の流れる道を掘って、道を作っていく。
"ここを掘ると、いいんじゃない?"
考えながら

・水を運んでくる子、土山を掘削して、水の流れるせき止めをする子、それぞれの得意さを、子どもたち同士で、協力しながら遊びを進めていく。

土山あそび



・木ぎれを、土で固定して、水の流れるせき止めを作る。



・水が、流れてしまわないように、すき間に、どろをつめて土で工夫する。
"ここから流れてる!!"
"ここをせき止める!!"



・水を運んでくる子に、"まだ流せないで!!"と伝え、かた方が整うと、"いいよー"の合図で、水を流し、あふれ出すと、木ぎれや土でせき止める。
※1つ作業を言話し、同じような作業をくり返していく。



↑
木ぎれや土などを使い、工夫して、水の流れるせき止め、水をためることのできるあび場をどんどん発展させ、長時間、夢中になる。